

第3章 将来都市像と都市づくりの目標

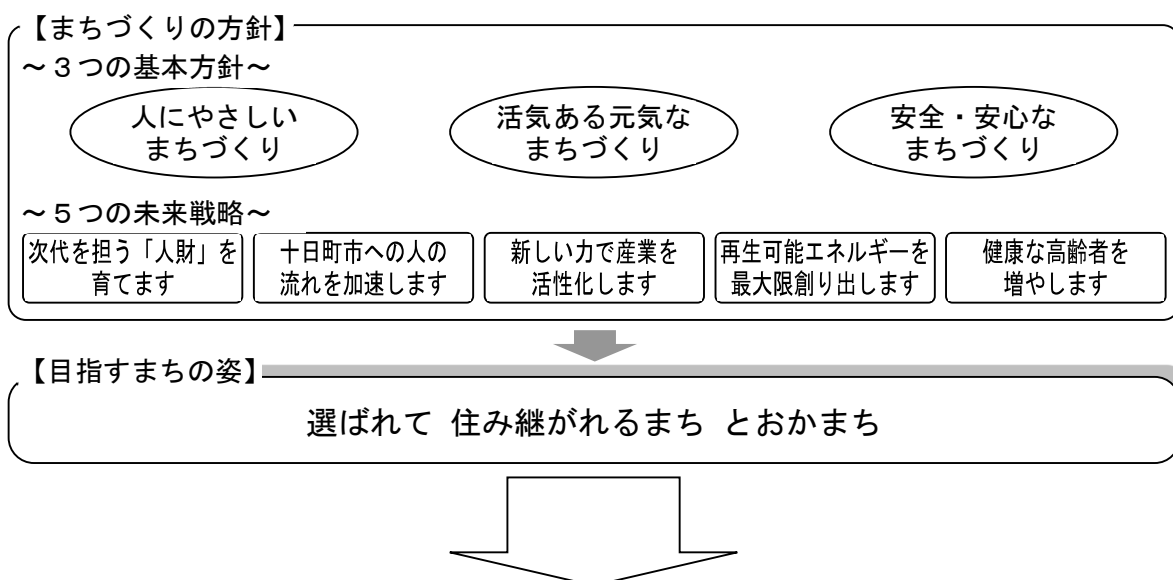
3-1 将来都市像

「第二次十日町市総合計画後期基本計画」では、“選ばれて 住み継がれるまち とおかまち”を『目指すまちの姿』として掲げています。

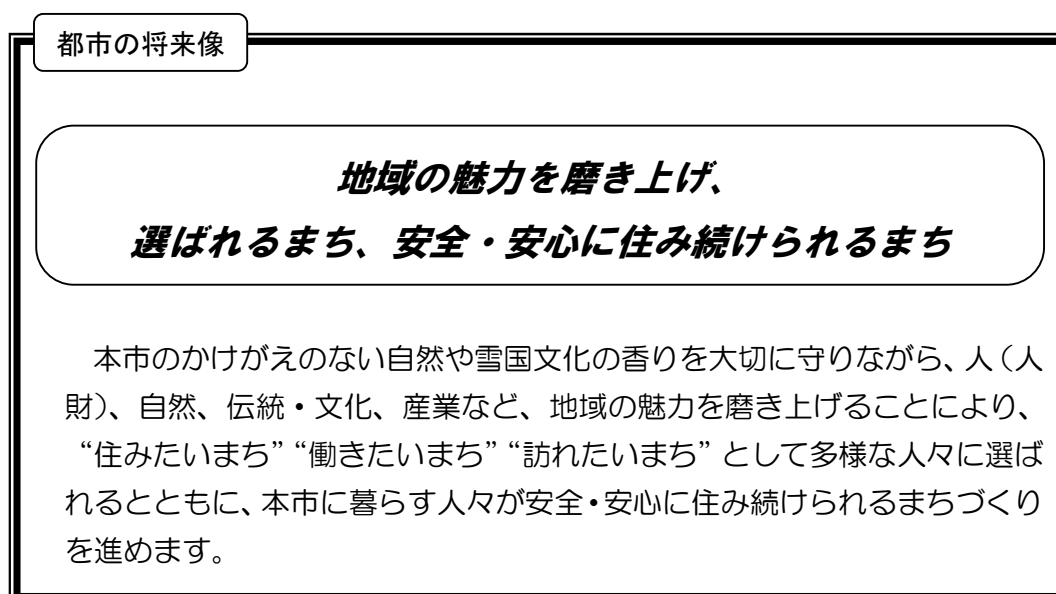
また、目指すまちの姿を達成するため、『まちづくりの方針』として、“3つの基本方針”と“5つの未来戦略”を掲げています。

本計画では、「第二次十日町市総合計画後期基本計画」の『目指すまちの姿』と『まちづくりの方針』を踏まえながら、都市計画の視点として都市の機能、都市づくりの方策を加味して、都市の将来像を以下のように定めます。

〈第二次十日町市総合計画後期基本計画におけるまちづくりの方針と目指すまちの姿〉



〈本計画の将来像〉



3-2 都市づくりの目標

本市の都市の将来像を実現するため、都市づくりの目標を以下のように定めます。

1) ふるさとの自然を守り、育て、環境に配慮した持続可能な都市づくり

大河信濃川や清津峡、棚田、ブナ林に代表される緑豊かな森林など、本市は、四季折々に様々な表情を見せる美しい自然環境に囲まれています。

この豊かな自然環境を大切にするとともに、ごみの排出抑制・再利用・再資源化の徹底により、環境負荷の少ない循環型社会や脱炭素社会の構築を図り、持続可能な都市づくりを推進します。

また、これらの自然環境を景観づくりに活用し、美しく個性豊かで魅力的な景観形成により、うるおい豊かな都市空間を創出します。

【関連する SDGs のアイコン】



2) 市民が愛着や誇りを持てる、魅力と個性ある雪国文化を創造する都市づくり

本市において、長い冬を象徴する雪は、多彩な四季と恵みをもたらすとともに、独自の文化や風土を育んできました。

このような豊かな自然や文化がもたらす恩恵を再認識するとともに、雪や着物、アートを軸にした、魅力と個性ある雪国文化を創造し、心豊かな質の高い暮らしが実現でき、愛着や誇りの持てる都市づくりを推進します。



3) 誰もが安心して暮らせる安全な都市づくり

近年、各地では頻発・激甚化する自然災害が発生していることから、防災は、安心して暮らせる都市づくりに欠かせない最も重要な課題であり、あらゆる災害に対する防災・減災対策の強化を図る必要があります。特に本市は、近年、地震や豪雨による災害に見舞われるとともに、全国有数の豪雪地であるため、雪害への対応が常に求められています。このため、治山・治水事業の促進、密集市街地の改善、雪害対策の充実など、災害に強い都市づくりを推進します。

また、防犯面でも重要となる空地空家の適切な管理および活用に向けた取組を推進します。



4) 地域資源を活かしながら、誰もが快適に住み続けられるコンパクトな都市づくり

市民が豊かで利便性が高く快適な生活を享受するためには、生活や経済活動を支える都市基盤施設の整備・充実が求められます。

特に過疎化と少子高齢化による人口減少が進行している本市においては、ネットワーク型コンパクトシティの形成と、移住・定住対策による人口増加や交流人口の増加を図る必要があります。

このため、市民が安全・安心、かつ、快適に住み続けることができ、また、子育て世代など若い世代をはじめ多様な人々から選ばれ、移住・定住者の増加につながるよう、地域資源を生かした魅力ある都市づくりを推進します。



5) 活力ある産業を育て、賑わいと交流を創出し、成長・発展する都市づくり

都市活力の維持・向上のためには、デジタル化の急速な進展など、社会経済情勢の変化に対応した産業の振興・育成が必要です。また、本市においては、きもの産業等が低迷している状況にあり、既存産業の活性化と新たな産業の創造が求められます。

このため、地域の魅力的な資源を生かした観光業の活性化を図りつつ、中心市街地においては、賑わいと交流の創出を図ります。

農業・商工業などの各分野においては、相互連携を強化し、新規産業誘致や多様な雇用の場の確保、先端技術の導入の検討等により、成長と発展を続ける都市づくりを推進します。



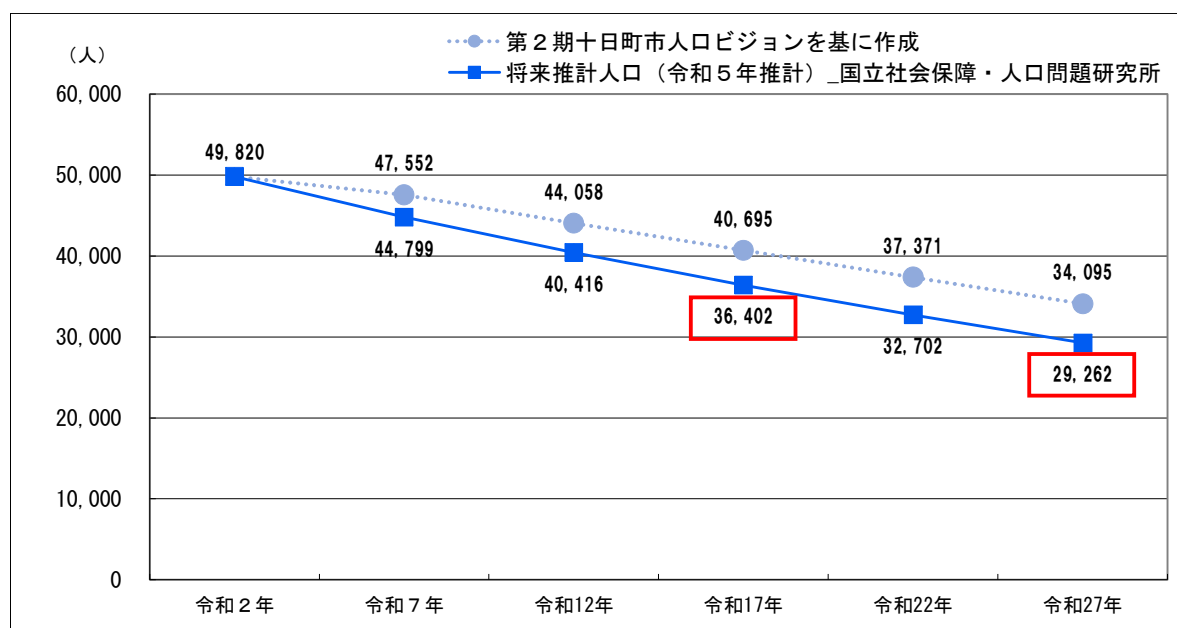
3-3 将来人口目標

本計画では、おおむね 20 年後（令和 27 年）の都市の姿を展望しつつ、中間年次となる令和 17 年、目標年度となる令和 27 年の将来人口を設定します。

人口推計については、国立社会保障・人口問題研究所において、令和 17 年の推計人口を 36,402 人、令和 27 年の推計人口を 29,262 人と推計しています。

本市および全国の地方都市を取り巻く状況等を踏まえ、今後も人口減少が継続するものと想定されることから、本計画では、この推計値を基本とすることとし、中間年次である令和 17 年の推計人口を約 36,400 人、目標年次である令和 27 年の将来人口を約 29,300 人と設定し、今後、都市づくりの方針等の実現を通して、上記推計値以上の人口維持を図ります。

なお、本市においては、第 2 期十日町市人口ビジョンにおいて、下図に示す目標人口を設定しています。上記推計値以上の人口維持を目指すとともに、この目標人口の達成に少しでも近づけるよう、上位関連計画と連携しながら、各種取組・施策を推進していきます。



※令和 2 年は国勢調査による実績値

図 人口の将来展望